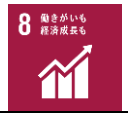
第２号様式（第５条関係）

ＳＤＧｓ宣言書

名　　称　就労継続支援Ｂ型事業所 つばきガーデン
代 表 者 名　伊集院尚也

私たちは、下記のとおり持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の達成に向け、とだ SDGs パートナーとなり、戸田市とともに取り組んでいくことを宣言します。
＜宣言日：令和８年　１０月　２８日＞

１　今後取り組む又は取り組んでいるＳＤＧｓ目標（ゴール）　　（○を記入。）複数選択可

							
							○
			○				○
							
	○						

２　持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の達成に貢献するための活動内容

私たちは、就労継続支援Ｂ型事業所つばきガーデンの運営を通じて、障がいのある方の就労機会の創出と、地域における資源循環の促進に取り組み、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて行動します。

【目標８　働きがいも経済成長も】

障がいのある方が、それぞれの特性や能力に応じて継続的に働くことのできる環境づくりに取り組みます。

特に、使用済みパソコンや小型電子機器の解体・分別作業など、新たな生産活動の機会を創出し、利用者の作業能力の向上及び工賃向上につなげます。

【目標 10　人や国の不平等をなくそう】

障がいの有無にかかわらず、地域社会の中で役割を持ち、働くことができる環境づくりを推進します。

利用者一人ひとりの特性に合わせた作業機会を提供し、社会参加及び自立につながる支援に取り組みます。

【目標 12　つくる責任　つかう責任】

地域の企業や家庭で不要となったパソコン・小型電子機器を回収し、利用者による解体・分別作業を

通じて、基板や金属等の再資源化を進めます。
まだ資源として活用できる電子機器を廃棄物として終わらせるのではなく、適切に分別し資源循環につなげることで、廃棄物の削減及び循環型社会の実現に貢献します。
【目標 17　パートナーシップで目標を達成しよう】
戸田市内の企業・団体・地域の皆様との連携を進め、不要となったパソコンや小型電子機器を地域の福祉の仕事へつなげる仕組みを構築します。
企業や地域住民が参加しやすい回収活動を広げることで、「障がい福祉」「資源循環」「地域連携」を結び付けた持続可能な地域づくりに取り組みます。
これらの活動を通じて、使用済みパソコン等を「捨てるもの」から「地域の仕事と資源」へ転換し、障がいのある方の仕事・工賃の向上と、戸田市における資源循環の両立を目指します。

※　1で「○」を入れたＳＤＧｓ目標(ゴール)の達成にどのように貢献するかなど取組内容を記載してください。